

Special Seminar

Evaluating Catastrophic Risks

現代社会には、壊滅的な結末を招きかねないさまざまなリスクが存在します。私たち人類は、日常生活に影響を及ぼすような壊滅的イベントのリスク評価を早急に行えるようにすることで、そのようなリスクを評価し、そのようなリスクに備える必要があります。本セミナーでは、現代社会における壊滅的事象のリスク評価に着目し、優先順位をつけ、評価のあり方やメカニズムとの連動を探ります。

日時：3/26 (火) 13:00~16:00

場所：東一条館 201号室

プログラム

- 13:00~14:00 The History of Predicting and Preparing for Catastrophic Threats
Matthew Connelly 教授 (ケンブリッジ大学 Centre for the Study of Existential Risk センター理事)
- 14:10~14:40 Incorporating Distributive Justice into Existential Risk Studies
宇佐美誠 教授 (京都大学 GSGES)
- 14:40~15:10 Prioritization of Different Kinds of Natural Disasters and Low-Probability, High-Consequence Events – Space and Terrestrial Disasters
山敷庸亮 教授 (京都大学 総合生存学館)
- 15:20~16:00 Discussion
藤井咲花 博士 (京都大学総合生存学館) ・ 森裕和 氏 (WARPSPACE CSO) ・ 磯部洋明 准教授 (京都市立芸術大学)



関連分野を専門とする学生・企業のみ参加可
お申し込みは左のQRコードまたは下記のリンクから

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdUwEsiCdWA4PIE6JQjOb3DuNSwAwq7mIh_X062DxEAqcQKqQ/viewform



主催：京都大学大学院総合生存学館
University of Cambridge, Centre for the Study of Existential Risk



登壇者紹介



Matthew Connelly 教授

ケンブリッジ大学・Centre for the Study for the Existential Risk センター理事

国際史・グローバル史を専門とする。これまで、核戦争・パンデミック・気候変動など、地球の脅威に関するさまざまな研究を主導してきた。現在、核戦争・パンデミック・気候変動など、地球の脅威に関するトピックを教え、世界銀行や国土安全保障省などの組織に助言するなど、幅広い政策経験を持っている。

「The Declassification Engine」や「Fatal Misconception」などを執筆し、歴史的課題や現代社会にはびこる課題を批判的に検証している。多数の名門と呼ばれる教育機関にて教鞭を執り、学術誌やメディアに寄稿してきた。現在、これまでの壊滅的な事象に対する制度での対応を分析する本を執筆中。



京都大学総合生存学館
山敷庸亮 教授



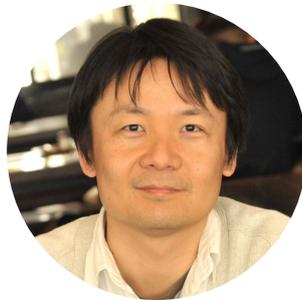
WARPSPACE CSO
森裕和



京都大学 GSGES
宇佐美誠 教授



京都大学総合生存学館
藤井咲花



京都市立芸術大学
磯部洋明 准教授